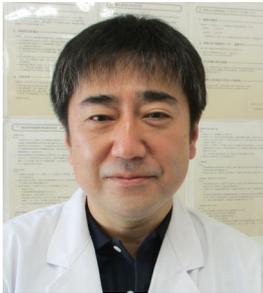


さゆり調剤薬局・管理薬剤師 能登谷昭彦さんに聞く！

お薬のことをよく知ろう！

10月17日～23日は「薬と健康の週間」です。今回は、
医薬品を正しく使うことの大切さについて、さゆり調剤薬局・
管理薬剤師の能登谷さんにインタビューしました。



有限会社日本メディカル
さゆり調剤薬局 管理薬剤師
の と や あきひこ
能登谷 昭彦 さん



健康増進課 健康支援係
た さ き み き こ
田崎 美記子 保健師

なぜお薬手帳は1冊にまとめて管理した方が良いのですか？

お薬手帳は薬局や病院ごとに配付されることがありますが、1冊にまとめてあることで患者さんが使用する**お薬の全体に薬剤師が目を通し、重複投薬や飲み合わせの不適正に気付くことにつながる**からです。



最近話題になっている「ポリファーマシー」について教えてください。

聞きなれない言葉だと思いますが、直訳すると「多くの薬」ということで、多くの薬を服用しているために副作用が起きるなど飲み合わせの中で害をなすものを表します。しかし、**多くの薬を服用することは決して悪いことではありません**。こうしたポリファーマシーを減らしていくことが私たち薬剤師の責務と考えています。

市販薬を使用する「セルフメディケーション」について教えてください。

具体的には、医師の処方による病気を治す薬というより、体調管理や生活の質を良くするためドラッグストアなどの市販薬を補助的に使用するなどのことですが、**時には自分自身で判断がつかない場合があると思います。その時に適切なアドバイスや一緒に考えることなどができたらよいと思います。**

能登谷薬剤師が
町民の皆さんに
伝えたいポイント

- ①処方薬は飲み忘れなく、しっかり飲んでください。
- ②家族や友人と薬のやり取りはせず、自分の薬は自分で使いましょう。
- ③薬のことであれば、気軽に何でもご相談ください。

さゆり調剤薬局に勤務して10年になる齋藤さん。職員健診でコレステロール値が高めになったことがきっかけで、糖分と脂っこい物を控えるようにしたところ、3月の検診で着実に成果が上がっていました。薬局で患者さんと接することで、薬に頼り過ぎず適正に使用することの大切さを見てきたため、「病気の発症予防や重症化予防には、まずは自分でできることから実践して試みるのが大切」だと実感しているそうです。股関節が悪いこともあり、今後はできるだけ歩くことや筋トレに挑戦してみたいと話していました。



さゆり調剤薬局 職員
齋藤 幸子さん

実践者
今月のさすけねえ輪